

シニアアンサンブル 楽団紹介

習志野シニアアンサンブル 代表 月岡 喜久雄

平成24年2月に千葉シニアの方々の協力を得て発足しました。指導は澤田敏春先生にお願いし、当初は団員も少ないため、千葉シニアや幕張フィルの方々にも練習の応援をいただき、進めていました。練習会場の大久保公民館は、京成大久保駅前、駐車場完備という超好立地条件で、ピアノのある大部屋はどこの公民館でも埋まっていたのですが、偶然、大久保公民館が水曜日のみ空いている部屋があり、全てが恵まれていました。団員にも恵まれ、次々と力のある方々が入団されるようになりました。でも個人個人は能力のある団員は多いのですが、合奏となると、まだまだ課題もあり、例えば、何度注意されても、ppはなかなかできませんし、他のパートを聴く余裕もないかも知れません。ここ2～3年は年間約11回の訪問演奏やイベント出演の依頼があり、地元では知られるようになってきました。



現在パートはVn<7> Va<2> Vc<3> Fk<6> Ck<4>、Sax<1>、Bg<1> G<1> Ds<1> Kb<2> Pf<1> 尺八<1> ケーナ<1>という状況です。腕自慢が多いので、恒例の年末飲み会では演奏者が次々と出て、飲食の時間がなくなり、今年からは表芸の楽器演奏は遠慮して欲しいとの声が上がりました（隠し芸は別）。楽譜は澤田先生が好意で編曲して下さい、趣味だからと仰って料金もご辞退されています。他に団員2名も無料で編曲をしてくれて、習志野は恵まれています。

ていあらアンサンブル江東 代表 宮下正代

江東区は水彩都市と言われ運河が区内を縦横に走り、桜の季節はこの運河沿いが桜の名所となっています。2014年(H26)に結成され、当初7～8名でスタートし練習会場は都営新宿線西大島駅近くの小学校を借り毎月第2・4日曜日の11時～16時30分まで、11時～は個人練習と昼食し種々の連絡事項を行い13時30～五十嵐先生指導の全体練習がはじまります。2015年の全国大会が私達の団として、観客の前での演奏が初めてでした。指揮者の五十嵐先生の温かく熱のこもった指導により全国大会に出演する事が出来ました。又読売新聞の地方版、朝日新聞のミニコミ紙掲載され広く紹介していただきました大会終了後活動範囲が更に拡大され区内の特別養護老人施設に急速入り、2015年1ヶ所、2016年に1ヶ所演奏する事が出来ました。この演奏会は大変好評で今後共引き続き続けて行きます。



2016年11月に第1回定期演奏会を亀戸文化センターで開催します、現在この準備でたいへんですが、極力少ない予算のなかで手作りで私達らしい演奏会して行きたいと考えています。現状としてはまだ団員不足が否めず又会場の安定の確保がありますがようやく団として仲間意識が芽生え楽器毎に音を確認しあうほほえましい様子を見ることが出来るようになりました。今後はシニア全国大会と定期演奏会を軸に皆と輪を広げ五十嵐先生を中心に着実に進み音楽の音を江東区の中に奏でて行きたいです。

東金シニアアンサンブル 代表 安齋 孝



東金シニアアンサンブルは2014(H26)年4月に大網白里市で発足しました。市原シニアのメンバーが中心になり、地元シニアアンサンブルを立ち上げようとすめられ、15名のメンバーで産声をあげました。あれから2年たち、現在は24名になりました。レパートリーも25曲になりました。

連日東奔西走の大野先生の、優しく丁寧な指導で自信を深め、老人福祉施設訪問・東金文化会館での芸能祭参加など、音楽活動に生きがいを感じています。練習は第一、第二、第三の水曜日を基本に、東金市の大和公民館と丘山公民館を利用しています。時間は午後1時から2時間半やっています。楽器の編成はVn<3> Vc<1> Mn<5> Fk<3> G<3> B<2> As<2> Ck<1> Tp<1> Kb<2> Pf<1> Mar<1>、特徴的なのはマンドリンが5名で独特のトレモロがひびきあい、心地よいハーモニーをかもし出しています。もう一つはマリimbaがあることです。畳一畳ほどで、持ち運び楽器では最大で、王様の存在です。独特の奥深い音色、柔らかな響きはアンサンブルを底から盛り上げてくれます。みんなでバラバラのパートの組み立てに始まり、練習後の解体でいつの間にか、親しくなり、会話が弾み楽しく練習ができるようになりました。

発足3年目の来春は第一回の演奏会を発足地の大網白里市で開催することにしています。長い時間の演奏会は初めてであり、いまからワクワク、ドキドキですが日頃の練習の成果をしっかりと出せるようメンバー一同、決意を新たにしているところです。